

船城の風

学校 HP <http://www.tamba.ed.jp/site/funaki/>



2024. 6. 21

船城小学校のあれこれ・・・

6月11日（火）の全校朝会で船城小学校の歴史の話をしました。子どもたちが少しでも興味を持つようにクイズ形式も取り入れながら話をしたのですがこちらが思っていた以上に船城小学校の歴史について詳しい子がいたのに驚きでした。「船城小学校が生まれた時はどこの場所にあったでしょう」「野山にあった学校が次に移ったのはどこでしょう」「野山学校の次にどんな名前になったでしょう」などの問題もすべて答える子が結構いました。生活や総合的な学習で勉強している「ふるさと学ふなき」での学びが役立っていると感心しました。

最後に「ふるさと学ふなき」には、**すばらしいひと しぜん もの**があることを伝え、「これからもそのことを学んで、多くの人に伝えてほしい」と話をしました。150周年の機会にそんな場をつくりたいと考えています。

お宝発見！

保護者の方から船城小学校のアフタースクール（旧幼稚園）の一室に卒業生が制作された船城小学校の前の校舎の模型があることを伺いました。見に行くと、昭和62年の卒業生が制作されたもので、本当に細かく作られていて、その当時の様子がよく分かる模型でした。それにしても、これほどの模型を造られた当時の6年生の根気強さや意欲に感心しました。



ふなキッズのちょっといい話

船城小学校では、4月の月目標で「きもちのいいあいさつをしよう」に取り組みました。子どもたちには3つのポイントとして、①元気な声で②相手の目を見て③自分からと気持ちのいいあいさつをしよう取り組みました。児童会の子どもたちは、どうしたらあいさつができるようになるのかを自分たちで考え、「あいさつ名人を見つけて表彰しよう」と、がんばってくれました。そのおかげで、毎朝、元気なあいさつの声が響くようになりました。それだけではなく、目を見て会釈しながら気持ちのいいあいさつをしている子も増えました。言われなくても、自分たちで生活を高めていく力を伸ばしている船城っ子に感心しました。